



奈良県紀伊半島大水害復旧・復興計画の着実な実行
 主担当部局：南部東部振興監



建設が進む十津川村の復興住宅（十津川村猿飼地区）

目指す姿

百年の計に立ち、「災害に強く、希望の持てる」地域を目指します。



●平成26年度までの「集中復旧・復興期間」
 （平成23年度～平成26年度）において

避難者・被災者の生活の立ち直りを図ることはもとより、道路、林道、土砂ダムの緊急工事等の

地域の再生・再興につながる

復旧事業

を迅速に進めます。

●「中・長期（平成27年度～平成32年度）」期間において地域の再生・再興に向けたインフラ整備などを充実させ、併せて

新しい集落づくり、産業・雇用の創造、くらしづくりなどについても、可能なものから

着手します。

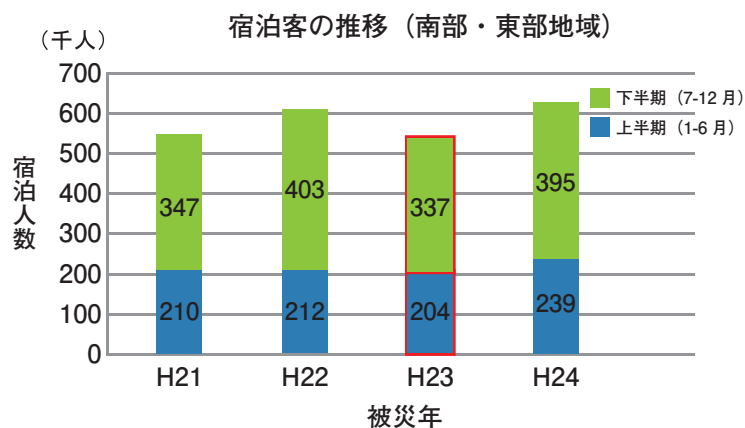
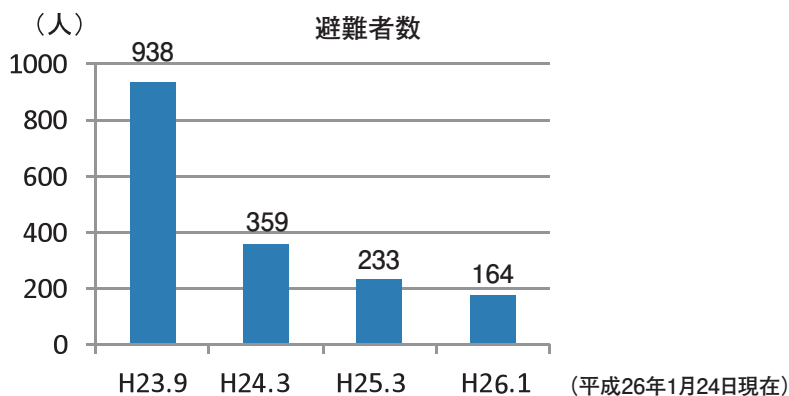
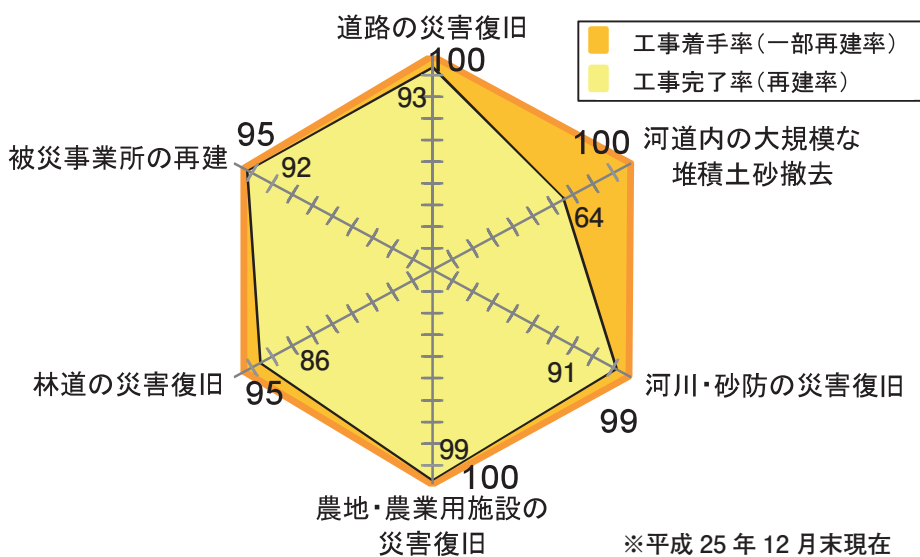
更なる発展

に向けた取り組みを推進します。

現 状

分 析

■ 主な指標



- 避難者は、概ね順調に減少していますが、依然として3市村で、応急仮設住宅等で避難生活を送られている方がおられます。(平成26年1月24日現在：164人)
- 道路の災害復旧事業の93%の箇所ですべてに工事が完了しました。残る箇所も平成26年度末までにほぼ完了するなど、計画どおりに進捗しています。
- 被災直後に大きく減少した南部・東部地域の宿泊者数は、平成24年には、被災前(平成22年)の3%増の水準に回復しました。

戦略1

被災地域の迅速な立ち直り・回復を推進します。

主担当課：地域振興部 復旧・復興推進室

目標

- ▶ **地域住民が被災前の日常生活を一日も早く取り戻すことを目指します。**
(避難者数 ピーク時：938人→平成26年1月24日現在：164人)
- ▶ 復旧事業については、「**集中復旧・復興期間(平成23年度～平成26年度)**」で完了する目処をつけます。

取り組み

道路等の復旧、土砂ダム対策

避難者・被災者支援

生業・産業支援



十津川村「折立橋」(被災直後)



十津川村「折立橋」(平成26年1月復旧)

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
道路等の復旧、土砂ダム対策				
◎道路、林道等の復旧	復旧、復旧後の整備推進		一部継続	
◎災害廃棄物の処理	相互支援協定の運用			
◎河川内の堆積土砂の除去	工事の実施		●復旧完了	
避難者・被災者支援				
◎避難者・被災者へのきめ細やかな支援	各種支援			
◎ボランティアによる支援	各種支援			
生業・産業支援				
◎被災事業所等への支援	各種支援			
◎観光への緊急支援	各種支援			
◎地域に根ざした農林水産業の再生	各種支援			

戦略2

地域の再生・再興を推進します。

主担当課：地域振興部 復旧・復興推進室

目標

- ▶ 過疎化や高齢化が進行する被災地域が、**将来にわたり希望をもち、安全・安心して住み続けることのできる地域**とすることを目指します。

取り組み

災害に強いインフラづくり（道路、河川、砂防、林道、治山、情報、防災等）

新しい集落づくり

産業・雇用の創造（林業、観光等）

くらしづくり（教育、医療、福祉等）



なんゆう祭（南部地域産業復興推進大会）



紀伊半島アンカールートの整備（川津道路）

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
災害に強いインフラづくり (道路、河川、砂防、林道、治山、情報、防災等)				
◎紀伊半島アンカー ルートの整備	整備の推進			
◎土砂災害への恒久的 対応	土砂ダム及び大規模土砂崩壊対策			
◎河道整備	本復旧工事及び総合的な治水対策			
◎災害に強い森林づくり	本復旧・整備推進			
◎災害に強い情報ネッ トワークづくり	本復旧・整備推進			
◎災害の種別に対応した 防災システムの構築	見直し、検討、整備推進			
◎バス交通の確保	取組支援・運行確保			
新しい集落づくり	基盤、機能整備推進			

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
産業・雇用の創造（林業、観光等）				
◎林業の振興	各種振興策の推進			
◎地域産業の振興	各種支援			
◎観光振興、世界遺産 等の活用	観光事業の推進			
くらしづくり（教育、医療、福祉等）				
◎へき地教育の充実及 び南部地域での教育 活動の充実	各種支援			
◎地域医療の再生と体 制整備	体制整備			
◎高齢者、障害者や子 育ての支援	各種支援			
◎協働の推進	各種支援			
◎移住・定住の促進	各種支援			
◎文化芸術活動の活性化	活動支援の強化・人材育成			

戦略3

安全・安心への備えを充実します。

主担当課：地域振興部 復旧・復興推進室

目標

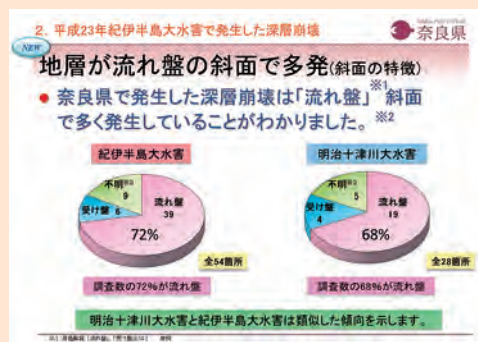
▶ 紀伊半島大水害の経験を踏まえ、今後の災害に備えた**安全・安心のための新たなシステムづくり**を目指します。

取り組み

監視・警戒・避難のシステムづくり

深層崩壊のメカニズム解明と対策研究

記録の整備、次世代への継承



「深層崩壊のメカニズム解明に関する現状報告(平成25年6月公表版)」より抜粋



深層崩壊セミナー (平成25年11月22日開催)



記録の整備「紀伊半島大水害の記録」



紀伊半島大水害復旧・復興シンポジウム

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
監視・警戒・避難のシステムづくり				
◎大規模土砂災害監視・警戒・避難システム検討会の設置・運営	警戒・避難システムの検討	警戒・避難体制の整備	システムの運用	
深層崩壊のメカニズム解明と対策研究				
◎深層崩壊研究会の設置・運営	深層崩壊メカニズム検討			
記録の整備、次世代への継承				
◎災害の記録の整備	災害記録、啓発冊子の編纂	啓発		
◎防災教育・啓発	教育・啓発、人材育成			
◎危機管理のノウハウの教育、伝承	防災訓練の実施、自治体職員等の研修			

これまでの成果

被災直後のピーク時に359世帯938人の**避難者**は、対策工事の進捗などにより、**76世帯164人までに減少**しています。(平成26年1月24日現在)

五條市、野迫川村、十津川村での**復興公営住宅の建設**(3市村で計24戸)を支援しており、既に**十津川村で3戸の住宅が完成**しました。(平成26年1月末現在)

観光業の復興については、**南部・東部地域の宿泊者数**が、プレミアム宿泊旅行券の発行、南部地域での会議開催支援の取組などにより**被災前を上回る水準に回復**しました。(平成22年→平成24年103%、平成23年→平成24年117%)

大規模土砂災害監視・警戒・避難システム検討会を開催(平成25年6月11日)し、「**深層崩壊のメカニズム解明に関する現状報告**(平成25年6月公表版)」を公表しました。

深層崩壊セミナーを平成25年11月22日に開催し、200名の参加者とこれまでの調査・研究の成果と今後の調査研究の取り組みの方向性について共に学びました。

紀伊半島大水害からの復興のため、**南部地域産業復興推進大会「なんゆう祭」**を平成25年11月23日、24日の両日に開催し、4,950人の参加がありました。

インフラ関係については、**道路の災害復旧事業の93%の箇所**で既に**工事が完了**しました。(平成25年12月末現在)。残る箇所も平成26年度末までにほぼ完了の見込みです。

国道168号雨量通行規制区間の見直し(平成25年5月23日)により**規制時間を短縮**できました。

産業の復興については、被災事業者等への金融支援などにより、**再建意欲のある被災事業者のうち95%が事業を再開**(平成25年12月末現在)しています。

五條市大塔町では、「**おおとう元気会議**」が立ち上がり、「地域で暮らし続けるための仕組みづくり」として**高齢者の見守り、配食サービス、買い物支援**などを実施しています。

「**紀伊半島大水害の記録**」を編纂し、防災啓発用や防災教育用の映像資料を作成するための「映像アーカイブ」を構築しました(平成25年3月)。

第2回紀伊半島大水害復旧・復興シンポジウムを平成25年9月5日に開催し、403人の参加者と5年後、10年後を見据えた復興について考えました。

「**ふるさと復興協力隊**」を県が直接採用し、**市町村に20名配置**(平成26年1月25日現在)し、地域おこし活動などに貢献しています。

主な指標の動き

よくなっている指標

◆道路の災害復旧状況

着手率99%、完了率52% [H25年1月末現在] → 着手率100%、完了率93% [H25年12月末現在]
・道路の災害復旧事業は、概ね順調に進捗し、25年度末にはほぼ完了の見込みです。

◆河川・砂防の災害復旧の状況

着手率99%、完了率44% [H25年1月末現在] → 着手率99%、完了率91% [H25年12月末現在]
・河川・砂防の災害復旧事業は概ね着手、完了箇所も着実に増加し、25年度末にはほぼ完了の見込みです。

◆農地・農業用施設の災害復旧状況

着手率97%、完了率97% [H25年1月末現在] → 着手率100%、完了率99% [H25年12月末現在]
・農業用施設(農道・水路・ため池)の災害復旧事業は、全て完了しました。

◆林道の災害復旧状況

着手率76%、完了率55% [H25年1月末現在] → 着手率95%、完了率86% [H25年12月末現在]
・主な被災箇所数187箇所のうち161箇所が完了するなど、着実に進捗しています。